

まちづくり複合施設等整備特別委員会

施設整備へ活発な町民会議

12月11日に委員会が開催され、基本設計策定に向けた検討状況の説明を受けた。

町民会議の状況

◆各地区推薦、公募委員、行政関係者29人で町民会議を組織し、現在まで3回の会議を行い検討中。

◆今後、12月中旬に中間とりまとめ、パブリックコメントを実施。平成28年2月中旬に最終とりまとめを行い、議会特別委員会へ。この間3回の町民会議を予定。

町産材調達方法

◆伐採予定地から杉を10本伐採し、乾燥、製材、強度試験を実施。

◆町内業者を主とした木材生産体制を構築中。乾燥施設に関する勉強視察研修を実施。

質疑

町民会議の要望と予算の関係は

委員 町民ラウンジなどの町民会議の要望により、予算額が増加するのでは。

当局 現在は希望をできるだけ入れた状態になっているが、どこを縮小するかなどの話をし、建設費に跳ね返らないようにする。

段差解消と動線の問題は

委員 平面図では段差のイメージができない。高齢化社会における段差解消や動線の問題をどう考えるか。

当局 町民会議でも同様の意見が出ている。次回の会議で横断面(断面)を示し、検討する。

その他

旧西中学校跡地利用について、(社)白鷹福祉会から要望が出されている、社会福祉用地として活用するとの説明があった。



模型を使っての検討(町民会議)



議会広報委員研修

伝わらなければ意味がない

10月20日から21日まで全国町村議会広報研修会に参加してきました。

今後の広報誌発行に大変参考になりました。

- ・「長い文章ほど良い文章」「難解な文章を書く人は優秀」というのは勘違い。
- ◎見やすい文章は得する
- ・読んでもらえる
- ・理解しやすくなる
- ・好感をもたれる
- ◎見やすくするポイント
- ・図やイラストを使う
- ・漢字を少なくする
- ・改行・空白行を使う
- ◎ゴールを示す
- ・何ができあがるのか
- ・どのようなことができるようになるのか
- ・どのような知識を得ることができるのか



熱気とやる気にあふれて